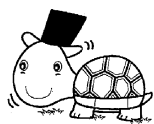




三輪さやか



# きらめき亀山21 かめさん

きらめき亀山21企画会議  
amani@helen.ocn.ne.jp

第55号

2005年10月21日発行

## 第6回市民交流会に向けて実行委員会スタート

2006年2月26日(日)に開催予定の市民交流会の実行委員会が9月30日(金)からスタートしました1回目は、関地区からの参加者を含め26人が実行委員として参加されました。10月11日(火)の第2回目の委員会では「こんな交流会にしたい」というテーマで4つのグループに分かれてワークショップを行ないました。

各グループでの集約を見ると

**中高生や企業も含めた多くの人の参加を呼びかける**

**各地区の特色を持たせた参加者を集める**

**開催地は関地区にしたい**

**話し合う場を重視したい**

**昼食スタッフとしてそれを楽しみに参加している人もいる。**

**受身の参加で無く自己アピールができる場としたい**

**地域間世代間の交流の場としたい**

**5年10年先の、まちの将来像を討論する場としたい**

開催地は、関小学校か関中学校のどちらかに決まりました。

### 目次:

市民交流会 実行委員会	1
市民交流の日	2
宿場の賑わい趣旨説明設置 ピアノカをケニヤに贈呈	3
今後の行事予定 四日市のNPOの動き	4

### 多文化共生講演会 開催！！

10月29日(土)

14:00~16:30

講師は、NPO法人  
多文化共生センター理事  
田村太郎さん

場所は、あいあい2階大会  
議室

テーマは、地域社会の中での  
多文化共生のあり方  
~担うべきそれぞれの役割~  
参加無料!

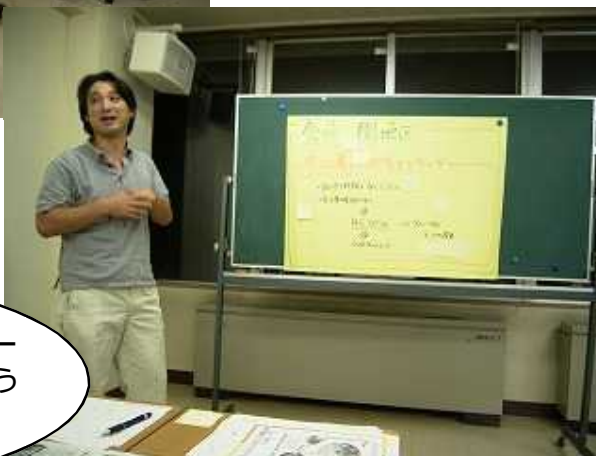
きらめき亀山21の今年度の  
テーマでもある「多文化  
共生」についての講演会です。  
ぜひご参加ください。  
主催: 亀山国際交流の会



グループに分かれての  
交流会のイメージづくり

やっぱり話し合いの場は  
大切だなあ.....

発表します。



各参加者の背中に自己アピ  
ールを描いていただいたらどう  
でしょう.....

3回目の実行委員会は10月31日(月)に行なわれます。  
さらなる皆さんの参加で盛り上げましょう!  
場所は2回目と同じ市役所3階第3委員会室です。

2005年11月21日  
(月)

19:30~21:30

「市民交流の日」

参加資格なし  
どなたでもご参加いた  
だけます。  
ぜひご参加ください。



## 市民交流の日 2005年9月21日の話し合い 出席者 24名 「外国人とともに暮らす社会づくり」

今年度は「多文化共生」をテーマに毎月21日話し合っておりますが、今回は三重県生活部国際室から講師に来てもらい、「多文化共生」についての行政の立場からの動きをご紹介いただきました。

講師：三重県生活部国際室 国際グループ 世古口主査

最初に各調査による実態と県としての施策を紹介してもらいました。

三重県の外国人の登録者数は2.29% 全国第8位だそうで亀山市は県下では人口比で最も高い4.52%です。その後、参加者との質疑に入りました。

県はこれからもっと外国人が増えてきたらどうするのか？

市町村の理解が必要。啓発の実施、そこに住む地域の人の協力が必要です。

医療防災の関係するところの事業実施が必要です。

まだ施策が実験的で、まだこれから進めていく状況です。市民の声を聞かせてほしい。

質問：海外からの出稼ぎ者対応なのか？

最初は出稼ぎ者対応だったが定住傾向があるので定住者も対象にしている。

提案：オーバーステイ者がいるが行政サイドではどうするのか？

国際室としてはオーバーステイを把握していない。把握すると通報義務がある。

提案：日本人と結婚している人もいる。外国では日本人学校も作っている。

質問：県は日本語に達者な外国人を採用しているのか。そういう方針は？

今のところ特に国際室では考えていないが三重県国際交流財団として外国の方を採用している。

質問：国際交流財団へ現役の職員が行っているのか。

1名の管理職がいます。異文化理解としてNPO等、県がリーダーシップをとってやっている部局もある。

提案：国際室ももっと入り込んで欲しい。

質問：アンケートで正社員55%はおかしい。

回答数が少なすぎる。

質問：国に対する要望の柱は？

労働、教育、社会保障制度等が予定

その他の意見：在日韓国人登録が減っているのは高齢化による現象。帰化もある。

多気町では日系フィリピン人が増えている。

研修制度という名の労働者が増えている。

就学調査は鈴鹿市が行った。

子どもが長く日本にいて母語を忘れて帰国できなくなってきているので母語の必要性を授業としてやっている。



## 河芸町千里が丘「ティーチン異文化」に参加しました。

河芸町の千里が丘小学校は全校生徒400人足らずのうち外国籍の生徒が10%近くいる実に国際色豊かな学校です。

先日、「ティーチン異文化」と称する集まりがあり、「きらめき亀山21」でも多文化共生を年度テーマにしていることもあり、市民3名、市民課2名で参加しました。

会場は80名近くの人でいっぱいでした。まずパネルディスカッションとして中国、ポリビア、ブラジルからの皆さんの、お話がありました。特に日本に来て困ったこと、嬉しかったことの体験談があり、まだ外国人が珍しい時期に来日し困難を乗り越えた体験には説得力がありました。そのあと4グループに別れて自由に話し合う場を持ちました。これから先、ますます増加する外国籍の人たち。確実に始まっている多文化の地域社会、それをどんな社会にするかをわたしたちみんな考えていきましょう。





## 亀山宿 東の端に屋号の趣旨説明版を設置

先日ようやく本町、露心庵跡近くの鳥居周辺に屋号の趣旨説明版を据え付けました。さまざまな障害を乗り越えやっと設置することができました。これで京口坂付近、万町付近、東町と合わせ合計4ヶ所の屋号の趣旨説明版を据え付けることができました。

要旨：「亀山市は江戸時代の城下町として栄えたまちです。昨今古い建物が姿を消し賑わいも見られなくなりました。宿場の賑わい復活一座では屋号の木札をつくり掲げていただくことを始めました。この度のしごとは材料提供から木札製作にいたるまで全て市民有志で行いました。今後も皆様の協力を得て東海道亀山が個性豊かなまちとなるよう私たちも活動を続けます。」

宿場の賑わい復活一座 中浦 豊子



## ケニヤへ40台のピアノを届けました

9月中旬「市橋隆雄さんを支える会」の有志9名はケニヤへ出かけました。結成以来5年間暖めてきたアフリカツアーが遂に実現したのです。ケニヤでスラムの子どもたちの幼稚園を運営するなど国籍と民族を超えた活動をしている亀山出身の市橋隆雄さんを訪問するためです。日本からのお土産は多くの市民の皆さんから寄附していただいた40台のピアノ（鍵盤付ハーモニカ）です。法外な税金を避けるため、各自が自分の所有物として持参したのです。初めてのことでナイロビ空港の税関では緊張しました。でもみんなで「サファリに来た」と言ったらトランクをひとつ開梱されただけで入国できました。

### 幼稚園にピアノを贈る

貧しいスラムの子ども達には楽器を持つなんて夢のまた夢です。でも大切に使用してもらえよう園長の市橋さらさんは「これはあなたの名前を入れてもあなたのものじゃなく私が貸しているのだから大切に使うのよ」と子ども達に言いました。劣悪な家庭環境で学力ではとてもかなわなくても創造性豊かな子ども達です。音感と楽譜を覚えれば自信をつけ将来、自立するのに結びつくかもしれません。日本の家庭のタンスの奥で眠っていたピアノがこんな形で役に立てれば素晴らしいことです。ケニヤ人の先生達も目を輝かせてピアノでの音楽教育に期待しています。



### スラムを現地体験

市橋さんの案内で観光旅行では絶対見れないスラム街も歩きました。想像以上にひどい環境でした。電気もなく窓もない、トイレも水道もない。昼でも真っ暗な家にもぐりこむと小さなカマドと寝る場所があるだけ。家具らしいものは何もありませんでした。生まれた子どもの3人に1人は5歳まで生きられないそうです。文字も読めないから仕事を得られない。仕事がないから収入がない。子どもも同様の過程をたどる。悪循環が続くのです。安易に現金を得られる売春はエイズの蔓延をまねき深刻な状態となっています。



### 仕事を与えるプロジェクト

裕福と貧困の二分化は犯罪を生み治安を悪くしています。一部の裕福層は高い石の塀で豪邸を囲い貧民街と隔離を始めています。「隔離でなく仕事を与えないとダメです」と市橋さんたちはスラムの人たちに自立への仕事を斡旋始めました。教会を通じた特別なルートで多量に古着を輸入し（それは固く圧縮されしわくちゃの状態です）適量を300円ほどで希望者に買ってもらいます。その人は洗濯し、しわを伸ばし商品として売ります。いくらで売るかはその人の努力次第です。

### ケニヤから日本の社会を見る

ケニヤは日本と同じく資源が無い国です。産業に不可欠な地下資源も水も電力も乏しいです。でも海外から見た日本は、いかに豊かで貧富の差が少ない国が実感できます。資源が無くても高い教育水準は産業を発展させ繁栄を成し遂げました。戦後の日本の歩みは世界に誇るべき実績です。しかし、最近心配な社会現象も出てきました。ものづくりを軽視した価値観、外国人や派遣と言う名の低賃金労働者から発生する社会階層の二分化等々。これからの日本社会、自分達の利権と安全を守るため壁を作りますか？それとも共存共栄の道を選びますか？

市橋隆雄さんより：ケニヤに17年住んでいるけど帰化するつもりはありません。私は日本人だし、ケニヤ人になれっこないんです。それより国籍に関係なく違いを超えて共に生きることが私達の使命なんです。

## 今後の行事予定

イベント名	日時	場所
ねこの館フリーマーケット	10月23日(日) 10:00～19:00	東町1丁目 ねこの館
多文化共生講演会	10月29日(土) 14:00～16:30	あいあい2階 大会議室
第6回市民交流会第3回実行委員会	10月31日(月) 19:30～21:30	市役所3階 第3委員会室
「きらめき亀山21」企画会議	11月1日(火) 19:30～21:30	市役所3階 理事者控室
自然を愛する会 定例会	11月3日(水) 19:00～21:00	あいあい2階 研修室
招き猫の会 定例会	11月7日(月) 18:00～20:00	東町1丁目 ねこの館
ぽっかぽかの会 ねこの館ギャラリー	11月7日(月)～ 13日(日)	東町1丁目 ねこの館
亀山国際交流の会 定例会	11月8日(火) 19:30～	市役所3階 理事者控室
宿場の賑わい復活一座ほか 「東海道シンポジウム」守口宿大会参加	11月12日(土) 10:00頃出発予定	大阪府 守口市
しゃべりばKIFAMIGO	11月13日(日) 10:00～	東町1丁目 ねこの館
ぽっかぽかの会 お菓子作り教室 (さつまいものタルトとアイス)	11月17日(木) 9:30～14:00	あいあい2階 栄養指導室
宿場の賑わい復活一座 定例会	11月17日(木) 19:30～	未定 (市役所以外で行う)
ぽっかぽかの会 アート教室 (卵の殻を使って)	11月20日(日) 10:00～12:00	あいあい2階 生きがい工作室
定例市民交流の日	11月21日(月) 19:30～21:30	市役所3階 大会議室



### 四日市NPOセクター会議 9月24日 四日市大学

四日市市では、来年度から市民活動センターが指定管理者制度に移行します。

そこで4つのNPOが指定管理者に共同申請をし「四日市NPOセクター会議」の設立に向けて、会議がありました。一つ一つのNPOは小さくても、力を合わせ、声をあげ存在感をアピールしていくこととなります。今回の対象となる施設はJR四日市駅近く旧納屋小学校の後を利用した建物です

NPOは資金、事務所など、さまざまな共通の問題点を抱えています。個々のNPOが共通課題で一致し、継続的な連絡組織をつくるのが重要であると考えます。

亀山でも東町の旧百五銀行跡に(仮称)亀山市市民協働センターが準備中です。将来、四日市と同様なケースになった時のために、他市の動きに注目していきましょう。

**11月21日(月)の「きらめき亀山21」は、  
「市民活動自立支援講座～市民活動が自立していくために～」です。  
講師は(特)市民フォーラム21の松本美穂さんです。  
ぜひ、ご参加ください。**

編集作成：「きらめき亀山21」企画会議

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーや各公共施設でも入手できます。

EMAIL [amani@helen.ocn.ne.jp](mailto:amani@helen.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>

市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/> マッホー亀山 <http://www.za.ztv.ne.jp/qtuh7aip/shimin/>

「きらめき亀山21」メーリングリスト 100名以上の参加者です。携帯でもOK

加入は「きらめき亀山21」HPより。または「きらめき亀山21」広報伊藤までご連絡ください。